

調布教会 教会学校 週報

2025年度 みことば



「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。」
ヨハネによる福音書 3章16節a より

きょうかいがっこうれいはい

教会学校礼拝プログラム

2026年 1月25日

前奏
*賛美

お祈り

「しゅにしたがうことは」こどもさんびか改定版 119

天の父なる神さま、新しい朝をありがとうございます。そしてこの朝に私たちを教会学校に招いてくださり感謝します。神様、経済が優先になっている世界で、人権がないがしろになっております。他人事だと隣人を愛することを忘れていた私たちを、悔い改め真の平和へ動くようお導き下さい。神様、奉仕してくださる教会学校の先生方をお守りください。教会学校がますますさかんにになりますように。この小さきお祈りを、イエス様のお名前を通してみ前にお献げします。アーメン

聖書
交読詩編

ローマの信徒への手紙 12章14節～21節 (p 286)

交読詩編 (2) 詩編8より p. 201

説教

『平和』について、聖書から学ぶ。」

主日礼拝での子供説教は、平和の挨拶「主の平和」「シャローム」「ハレルヤ！」で始まりますね。皆さんは「平和」について考えたことはありますか？

聖書には「平和」についてなんと書かれてあるのでしょうか？

- ・平和を造る人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。(マタイ 5:9)
- ・そこで、イエスは言われた。「剣を鞘に納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる。」(マタイ 26:52)
- ・終わりに、きょうだいたち、喜びなさい。初心に帰りなさい。励まし合いなさい。思いを一つにし、平和に過ごしなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。

(コリント 2 13:11)

まだまだあります。皆さんとともに学んでいきたいと思ひます。

暗唱聖句

誰にも悪をもって悪に報いることなく、すべての人の前で善を行うよう心がけなさい。できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に過ごしなさい。

(ローマの信徒への手紙 12章17節～18節)

黙想タイム

*賛美

「こすずめも、くじらも」 こどもさんびか改訂版 113 (21-425)

献金と感謝のお祈り 24-1

*主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名をあがめさせたまえ。御国を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みにあわせず、悪より救いだしたまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン

お知らせ

- ・次週は2月のお誕生です。楽しみに待ちましょう。
- ・教会に来られない時は、LINEを利用して家庭礼拝をおさげしましょう。
- ・次週のお話も楽しみにしてください。

*賛美
*祝福
後奏

36 いまでかけよう

八木浩史牧師

<せいしよ>

せいしよかしよ せいしよきょうかい きょうどうやく
聖書箇所「聖書協会 共同訳」ローマの信徒への手紙 12章14節～21節 (p 286)

14 あなたがたを迫害する者を祝福しなさい。祝福するのであって、呪ってはなりません。15 喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい。16 互いに思いを一つにし、高ぶらず、身分の低い人々と交わりなさい。自分を賢い者と思ってはなりません。17 誰にも悪をもって悪に報いることなく、すべての人の前で善を行うよう心がけなさい。18 できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に過ごしなさい。19 愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。『復讐は私のすること、私が報復する』と主は言われる」と書いてあります。20 「あなたの敵が飢えていたら食べさせ、渴いていたら飲ませよ。そうすれば、燃える炭火を彼の頭に積むことになる。」21 悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい。

<さんび>

しゅにしたがうことは

1. しゅにしたがうことは なんとうれしいこと
こころのそら はれて ひかりはてるよ。

* (くりかえし)

しゅのあとにつづき とともにすすもう
しゅのかもとにつづき うたってすすもう

2. しゅにしたがうことは なんといいあわせ
わるいおもい きえて こころはすむよ。 *
3. しゅにしたがうことは なんとこころづよい
おそれのかけ きえて ちからはますよ。 *



讃美歌21-425

こすずめもくじらも

1. こすずめも、くじらも、そらのほしも、 4. うえ、かわき、やまいと、ろうひのよに、
つくられたかたを たたえてうたう。 つくられたものは いやしもとめる。
2. おおじしんも、あらしも、いなびかりも、 5. りんじんとてきとの へだてはなく
つくられたかたに たすけをもとめる かみはあいとへいわ おあたえになる。
3. なないろにかがやく にじとじゅうじか、 6. いつのよもおられる あいのかみは、
そらのはかをみて、かんしゃささげよう。 みらいのせだいの いきるよろこび。

